

「e-お菓子ねっと」ご利用企業様

e-お菓子ねっと  
富士通エフ・アイ・ピー株式会社

## V 2 普及に向けたデータ内容の見直し(ご依頼)

拝啓 貴社益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

e-お菓子ねっとでは、2015年10月より、利便性向上のため、V2フォーマットやインターネット手順へシステム対応した新サービスをご提供しております。特にV2フォーマット対応では、データチェック機能を強化しており、V2フォーマット利用企業様の増加に伴い、V1フォーマット利用企業様との連携時にデータエラーにより連携不可となるケースが発生しております。

この為、「V1フォーマット利用企業様が送信しているデータがV2フォーマットに変換できるか」について調査し、対応が必要な企業様には個別報告を実施させていただきます。

e-お菓子ねっとから、『データ設定内容の見直し』依頼があった利用企業様につきましては、お手数をお掛け致しますが、本目的をご理解のうえ、V2普及に向けた取組みについてご理解とご協力を賜りたく、何卒宜しく御願ひ申し上げます。

敬具

記

### 1. 目的

V2利用企業の増加(普及)に向け、V1フォーマット利用企業様とV2フォーマット利用企業様との連携(センタ処理)時にデータエラーによりデータ連携できなくなることを事前に予防する

### 2. 調査結果

以下の調査により、V1フォーマット利用企業様の中に、データエラーとなる企業様を複数検知しました。

－対象の企業様には、本依頼を個別連絡（Eメールでのご送付）致します。

《調査概要》

－V1フォーマット利用企業様の送信データがV2フォーマットに変換できるかを調査する。

- ・対象期間：過去14日間分（2018年1月28日（土）～2018年2月10日（土））
- ・対象データ種：02 発注、22 出荷報告、42 販売報告
- ・調査方法：実データを利用（サンプリング調査）

当該データを検証環境で実際に処理し、変換エラー（データエラー）の有無を確認

※項番5に記載の「(1)強化されたエラーチェック処理の適用」を対象としており、

「(2)「特殊コンバート処理の適用」の影響調査は、実施しておりません。

### 3. ご依頼事項

(1)データ項目の設定方法の見直し、および、システム改修の実施

①調査結果：本メールに添付の「調査結果資料 V1→V2 連携・センターエラーチェック結果」をご参照下さい。

※HPのニュース掲載資料（調査結果）では、検出された各社のエラー情報をまとめております。

個別連絡が無かったご利用企業様も、当資料をご参照いただき、データ連携可能であること（貴社が作成しているデータの入力値がエラーに該当しないこと）をご確認下さい。

②改修方法：項番8.(1)に記載の「●データ・ガイドライン(PDF ファイル)」に準拠したデータ項目の設定になる様ご対応をお願いいたします。

(2)対応完了のご連絡

①完了連絡：本メールに添付の「データ内容の見直し\_完了通知書」にご記入のうえ、

Eメールにて「e-お菓子ねっと運用サポート」(fip-edic-eokashi@dl.jp.fujitsu.com)までご送付ください。

### 4. 対応期限

貴社または送信先企業様がV2フォーマットに切替を行う迄となります。

今秋、卸会員企業様にてV2フォーマット導入予定の為、データエラー企業様の受信ができなくなります。

早期のご対応をお願いします。

(以下次葉)

## 5. 補足 (V1とV2フォーマット連携時の適用処理による影響)

「e-お菓子ねっと」システムでは、貴社が引き続きV1フォーマットをご利用の場合でも、貴社の送信先企業様がV2フォーマットをご利用の場合、送信データに対して以下の処理が適用されます。

### (1)強化したエラーチェック処理の適用

- ①「e-お菓子ねっとデータ・ガイドライン」に沿って、エラーチェックを厳密に実施しております。
- ②規約に違反していた場合は、変換エラーとしてセンターでデータ破棄し、送信先にはデータは届きません。

### (2)特殊コンバート処理の適用

- ①当該項目の値を規約に従って、センターで自動編集したうえで、送信先企業様に送信します。
- ②V1フォーマット利用企業様の該当項目の設定値は、特殊コンバート処理後の設定値を送信先企業様 (V2) に連携しますので、ご注意ください。

※V1⇒V2の項目変換仕様については、項番8.(2)に記載の「標準フォーマット」にてご確認をお願いします。  
確認方法につきまして、添付の「特殊コンバート内容の確認手順」に従い、確認したい「標準フォーマット」のV2データ種の頁をご参照下さい。「V2←V1コンバート」列の“○”以外の表記内容が特殊コンバートの内容です。

## 6. お問い合わせ

以下の情報をご記入の上、Eメールにてお問い合わせをお願いいたします。

- ・タイトル : e-お菓子ねっとデータ内容見直しの質問
- ・本文 : ご質問内容、  
取引先コード (代表 数字 8 桁) 、  
御社名、  
ご担当者様名、  
お電話番号
- ・問い合わせ先 : 富士通IT・アイ・ピ - (株) e-お菓子ねっと運用サポート
- ・メール宛先 : fip-edic-eokashi@dl.jp.fujitsu.com

## 7. 添付資料

### (1)実データのサンプリング調査結果

- ・資料名 : 調査結果資料 V1⇒V2 連携・センターエラーチェック結果(PDF ファイル)

### (2)完了通知書

- ・資料名 : データ内容の見直し\_完了通知書(EXCEL ファイル)

### (3)特殊コンバート内容の確認手順

- ・資料名 : 特殊コンバート内容の確認手順(PDF ファイル)

## 8. 関連資料

### (1)e-お菓子ねっとデータ・ガイドライン

- ①「e-お菓子ねっとのホームページ」の普及資料にて公開しております。
  - ・URL : <http://www.eokashi.net/>
  - ・TOP> 資料室> 普及資料> ■ **ガイドライン**
  - ・資料名 : ●データ・ガイドライン(PDF ファイル)

### (2)標準フォーマット

- ①「e-お菓子ねっとのホームページ」の普及資料にて公開しております。
  - ・URL : <http://www.eokashi.net/>
  - ・TOP> 資料室> 普及資料> ■ **フォーマット集**
  - ・資料名 : ●EDI 標準フォーマット  
●Web-EDI フォーマット

1. はじめに

・確認対象のデータ種（卸、メーカーの区分による）

貴社が作成しているデータ種の入力値のご確認をお願いします。

確認対象のデータ種は、作成側である卸、メーカーの区分により決まり、表1に従いご確認をお願いします。

表1 データ種と確認対象者（送信元）

データ種	確認対象者（送信元）
02:発注	卸
22:出荷報告	メーカー
42:販売報告	卸

2. 調査対象

・調査対象期間 : 2018年01月28日(日) ~ 2018年02月10日(土)

・調査対象データ種 : 02発注、22出荷報告、42販売報告

3. センター処理エラー項目（V1→V2連携時）

貴社が作成しているデータの入力値がエラー対象に該当しないか、ご確認をお願い致します。

確認の結果、エラー対象に該当する場合は、入力値の修正をお願い致します。

No.	データ種	エラーレベル	レコード	エラー項目	エラーコード	エラー内容	エラー理由	エラー理由（詳細）
1	02:発注	重症	H	卸伝票NO	E4000	卸伝票NOは半角数字で入力してください。入力された値：△12432（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
2	02:発注	重症	H	専用伝票NO	E4000	専用伝票NOは半角数字で入力してください。入力された値：△△△△△△△0（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
3	02:発注	重症	H	明細行数	E4000	明細行数は半角数字で入力してください。入力された値：△1（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
4	02:発注	重症	M	行NO	E4000	行NOは半角数字で入力してください。入力された値：△1（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
5	02:発注	重症	M	数量/ケース数量	E4000	数量/ケース数量は半角数字で入力してください。入力された値：△△△△△△△1（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
6	02:発注	重症	M	数量/バラ数量	E4000	数量/バラ数量は半角数字で入力してください。入力された値：△△△△12000（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
7	02:発注	重症	M	数量/ボール数量	E4000	数量/ボール数量は半角数字で入力してください。入力された値：△△△△△△0（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
8	02:発注	重症	M	専用伝票行NO	E4000	専用伝票行NOは半角数字で入力してください。入力された値：△1（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
9	02:発注	重症	M	内容/ケース内ボール数	E4000	内容/ケース内ボール数は半角数字で入力してください。入力された値：△8（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
10	02:発注	重症	M	内容/ボール内バラ数	E4000	内容/ボール内バラ数は半角数字で入力してください。入力された値：△△△500（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
11	02:発注	重症	T	レコード件数	E4000	レコード件数は半角数字で入力してください。入力された値：△△△△△3（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
12	02:発注	重症	T	伝票枚数	E4000	伝票枚数は半角数字で入力してください。入力された値：△△△△△△1（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
13	02:発注	重症	H	一次店コード	E5000	一次店コードが入力されていません。1以上の値を入力する必要があります。	必須エラー	
14	02:発注	重症	M	商品コード識別区分	E5001	商品コード識別区分が入力されていません。必ず入力する必要があります。	必須エラー	△不可（△は、半角スペース）
15	02:発注	重症	M	商品コード識別区分	E6000	商品コード識別区分が規定コード値ではありません。設定可能な値を確認してください。	コード値エラー	2（ITFJ-T*拡張16桁）連携不可
16	02:発注	重症	H	専用伝票日付	E7100	専用伝票日付が日付ではありません。正しい日付を設定してください。入力された値：△△△△△△△0（△は、半角スペース）	日付エラー	不当日付
17	02:発注	重症	H	納品日	E7100	納品日が日付ではありません。正しい日付を設定してください。入力された値：20180026	日付エラー	不当日付
18	02:発注	軽症	H	レコード区分	W2400	漢字オプションレコードが破棄されました。		
19	22:出荷報告	重症	H	卸伝票NO	E4000	卸伝票NOは半角数字で入力してください。入力された値：24810△（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
20	22:出荷報告	重症	H	元伝NO	E4000	元伝NOは半角数字で入力してください。入力された値：Pコニホ	属性エラー	カナ混在
21	22:出荷報告	重症	H	専用伝票NO	E4000	専用伝票NOは半角数字で入力してください。入力された値：000000△△△（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
22	22:出荷報告	重症	H	専用伝票NO	E4000	専用伝票NOは半角数字で入力してください。入力された値：00003294{	属性エラー	符号混在
23	22:出荷報告	重症	H	伝票合計金額	E4000	伝票合計金額は半角数字で入力してください。入力された値：000000{	属性エラー	符号混在
24	22:出荷報告	重症	M	金額/卸店入金額	E4000	金額/卸店入金額は半角数字で入力してください。入力された値：00-12200	属性エラー	符号混在

C：コントロール H：ヘッダー M：明細 T：トレーラ

調査結果資料 V1→V2連携・センターエラーチェック結果

No.	データ種	エラーレベル	レコード	エラー項目	エラーコード	エラー内容	エラー理由	エラー理由（詳細）
25	22:出荷報告	重症	M	金額/二次店納入金額	E4000	金額/二次店納入金額は半角数字で入力してください。入力された値：00-12200	属性エラー	符号混在
26	22:出荷報告	重症	M	数量/ケース数量	E4000	数量/ケース数量は半角数字で入力してください。入力された値：00000-2	属性エラー	符号混在
27	22:出荷報告	重症	M	数量/バラ数量	E4000	数量/バラ数量は半角数字で入力してください。入力された値：00001600}	属性エラー	符号混在
28	22:出荷報告	重症	M	数量/バラ数量	E4000	数量/バラ数量は半角数字で入力してください。入力された値：000-20000	属性エラー	符号混在
29	22:出荷報告	重症	T	合計金額	E4000	合計金額は半角数字で入力してください。入力された値：00011646{	属性エラー	符号混在
30	22:出荷報告	重症	H	一次店コード	E5000	一次店コードが入力されていません。1以上の値を入力する必要があります。	必須エラー	
31	22:出荷報告	重症	M	包装区分	E5000	包装区分が入力されていません。1以上の値を入力する必要があります。	必須エラー	※1 無効明細ルール外(品番スペース以外)
32	22:出荷報告	軽症	H	レコード区分	W2400	漢字オプションレコードが破棄されました。		
33	42:販売報告	重症	T	合計金額	E4000	合計金額は半角数字で入力してください。入力された値：△△△△△15859（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
34	42:販売報告	重症	H	対象期日（自）	E5000	対象期日（自）が入力されていません。1以上の値を入力する必要があります。	必須エラー	
35	42:販売報告	重症	C	送信元名	E5001	送信元名が入力されていません。必ず入力する必要があります。	必須エラー	
36	22:出荷報告	重症	M	商品コード識別区分	E6000	商品コード識別区分が規定コード値ではありません。設定可能な値を確認してください。	コード値エラー	2（ITFJ-ト*拡張16桁）連携不可
37	22:出荷報告	重症	T	合計金額符号	E6000	合計金額符号が規定コード値ではありません。設定可能な値を確認してください。	コード値エラー	0不可
38	22:出荷報告	重症	C	データ作成日	E7100	データ作成日が日付ではありません。正しい日付を設定してください。入力された値：180129It	日付エラー	不当日付
39	22:出荷報告	重症	H	元伝日付	E7100	元伝日付が日付ではありません。正しい日付を設定してください。入力された値：00 I-J-	日付エラー	不当日付
40	22:出荷報告	重症	H	取引年月日	E7100	取引年月日が日付ではありません。正しい日付を設定してください。入力された値：18012904	日付エラー	不当日付
41	22:出荷報告	軽症	H	レコード区分	W2400	漢字オプションレコードが破棄されました。		
42	42:販売報告	重症	T	合計金額	E4000	合計金額は半角数字で入力してください。入力された値：△△△△△15859（△は、半角スペース）	属性エラー	スペース混在
43	42:販売報告	重症	H	対象期日（自）	E5000	対象期日（自）が入力されていません。1以上の値を入力する必要があります。	必須エラー	
44	42:販売報告	重症	C	送信元名	E5001	送信元名が入力されていません。必ず入力する必要があります。	必須エラー	
45	42:販売報告	重症	M	商品コード識別区分	E6000	商品コード識別区分が規定コード値ではありません。設定可能な値を確認してください。	コード値エラー	2（ITFJ-ト*拡張16桁）連携不可

C：コントロール H：ヘッダー M：明細 T：トレーラ

# 特殊コンバートの確認手順（添付資料）



e-お菓子ねっとでは、センター処理において特殊コンバートが適用された場合、「当該項目の値を規約に従って、センターで自動編集したうえで、送信先企業様に送信します。」

つきましては、以下の手順で特殊コンバートの対象項目を参照し、自社システムの設定内容との整合性（センタで自動編集されてもデータ連携が可能であること）をご確認下さい。

- （1）ご利用中のフォーマットのフォーマット集を参照します。  
（EDI標準フォーマット 又は Web-EDIフォーマット）



- （2）参照したいデータ種のV2データ種の頁を参照します。

例：V2・03発注

## 2. 2 V2・レコードフォーマット

### （1）V2・03発注

#### ① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明
	1	データ種別	1	9	2		◎	03：発注データ
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メーカー)の統一取引先
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸)の統一取引先
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1：コントロールレコード
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻
	7	送信先名	34	X	20			送信先(メーカー)名
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信元(卸)名
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名

(3) 「V2←V1コンバート」列の“○”以外の表記内容が特殊コンバートの内容です。

例：V 2・03発注

## 2. 2 V 2・レコードフォーマット

### (1) V 2・03発注

#### ① コントロールレコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明
	1	データ種別	1	9	2		◎	0 3：発注データ
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メカ) の統一取引先コード
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード
	4	レコード区分	19	9	1		◎	1：コントロールレコード
	5	データ作成日	20	9	8		◎	データ作成日付
	6	データ作成時刻	28	9	6			データ作成時刻
	7	送信先名	34	X	20			送信先(メカ)名
	8	送信元名	54	X	20		◎	送信元(卸)名
	9	直接送信先コード	74	9	8			送信先コードと異なる場合にセット
	10	直接送信先名	82	X	20			直接送信先名
	11	送信ファイルNO	102	9	2			同時送信時の問合せNo
	12	予備	104	X	1077			レイアウト拡張用の予備領域
	13	連携エリア	1181	X	20			旧フォーマット予備連携データ

#### ② ヘッダー／明細レコード

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明
	1	データ種別	1	9	2		◎	0 3：発注データ
	2	送信先コード	3	9	8		◎	送信先(メカ) の統一取引先コード
	3	送信元コード	11	9	8		◎	送信元(卸) の統一取引先コード
	4	レコード区分	19	9	1		◎	3：ヘッダー／明細レコード
	5	漢字コード区分	20	X	1			センターにて漢字コード区分をセットする
	6	卸発注伝票NO	21	9	8		◎	受発注データの卸伝票No
	7	店入直送区分	29	9	1		◎	店(倉)入れまたは直送等の区分
	8	取引コード	30	9	2		◎	業界統一取引コード

「V2←V1コンバート」列

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	V2 → V1・V2	V2 ← V2	V2 ← V1	V1フォーマット					
									センタチェック	コンバート	コンバート	比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数
		コード							○		"03"固定	○	コード				
		センター登録							○		○		2	送信先コード	3	9	8
		センター登録							○		○		3	送信元コード	11	9	8
		コード							○		○		4	レコード区分	19	9	1
		必須+日付							○		○		5	データ作成日	20	9	8
		時刻							○		属性初期値	◎					
									○		○		6	送信先名	28	X	20
		必須							○		○		7	送信元名	48	X	20
		センター登録							○		○		8	直接送信先コード	68	9	8
									○		○		9	直接送信先名	76	X	20
		属性							○		属性初期値	◎					
									○		属性初期値						
									○		○	◎	10	予備	96	X	161

変更	項番	項目	開始位置	属性	整数桁	小数桁	必須	項目説明	V2 → V1・V2	V2 ← V2	V2 ← V1	V1フォーマット						
									センタチェック	コンバート	コンバート	比較・変更点	項番	項目	開始	属性	整数	小数
		共通部チェック							○		"03"固定	○	コード					
		(コントロール同値、軽症フラ)							○		○		2	送信先コード	3	9	8	
									○		○		3	送信元コード	11	9	8	
									○		"3"固定	○	コード					
JEF								センター設定			センター設定	◎						
IBM									○		"00"+卸伝票NO	○	桁数	5	卸伝票NO	20	9	6
店引取									○		○	○	コード	6	店入直送区分	26	9	1
直送引取									○		○		7	取引コード	27	9	2	
1:直送返品									○		○							
2:直送返品訂正									○		○							

：特殊コンバートの内容